

安全・安心な消費材を日々、無事故で組合員に届けるために

生活クラブ連合会（生活クラブ事業連合生活協同組合連合会）は、21都道府県で活動する32生協の事業連合組織で、組合員数は約34万人におよぶ。各生協では職員がトラックを運転して、地域に住む組合員に毎週決められた日時に、食料・日用雑貨・衣料などの消費材を配送している。職員への安全運転指導は各生協で行っているが、同連合会でも年1回、新人（中途採用を含む）を対象にした安全運転研修を開催している。その目的を、同連合会総務部総務課の加藤正宏さんは次のように語る。「私たちの使命は、安全・安心な消費材を組合員の皆さんにお届けすること。ですから、それを運ぶクルマが交通事故を起こさないというのが大前提となります。新人の段階で、そうした安全に対する基本



2015年度新人安全運転研修には生活クラブ連合会の会員となっている生協から18名が参加

トラックの場合は、運転席の下にエンジンがあるため、インストラクターがキャビンの開け方から説明。冷却水、ブレーキオイル、エンジンオイル、タイヤ、灯火類などの確認方法を示す。そして、研修で運転するトラックを使って、受講者自身で点検を行う



的な考え方と知識・技術を身につけてもらうことがねらいです。毎年、各生協に案内し、受講者を募っています。

4月2日、3日の両日、交通教育センターレインボー埼玉で2015年度新人安全運転研修が実施され、18名が受講。1日目の実技は同センターの新コースが使われた。

最初は日常点検、正しい運転姿勢、トラックの死角。「乗車する時は必ず後方から左側面、前方へとまわり、前方の死角や車体の下に何も無いことを確認して運転席に乗り込みましょう。また、乗用車と違って、トラックは左後方の死角が目視で確認できませんから、サイドミラーでの確認回数を増やすことで対応してください」とインストラクターが注意を促す。

そして、受講者はトラックに乗車し、慣熟走行、パイロンスラロームへと進む。パイロンスラロームでは、あえて送りハンドルや内掛けなどを受講者が実践。そうした応用操作では、正しい操作（たすき掛け）に比べ、正確で素早いハンドル操作が難しいことを体的



送中事故の多くはクルママックから、2日目は車庫入れやバックによるパイロンスラロームなど後退訓練に多くの時間が割かれた。「広々としたコースで、インストラクターの方のきめ細かい指導を受け、安全意识とともに、トラックの運転技術も高まったと思います。2日間で身につけたことを日々の配送業務に活かしてほしい」と加藤さんはいう。

最初は日常点検、正しい運転姿勢、トラックの死角。「乗車する時は必ず後方から左側面、前方へとまわり、前方の死角や車体の下に何も無いことを確認して運転席に乗り込みましょう。また、乗用車と違って、トラックは左後方の死角が目視で確認できませんから、サイドミラーでの確認回数を増やすことで対応してください」とインストラクターが注意を促す。

そして、受講者はトラックに乗車し、慣熟走行、パイロンスラロームへと進む。パイロンスラロームでは、あえて送りハンドルや内掛けなどを受講者が実践。そうした応用操作では、正しい操作（たすき掛け）に比べ、正確で素早いハンドル操作が難しいことを体的



送りハンドル、内掛けでのパイロンスラロームを体験してもらうことで、そうした操作では何が危険なのかを気づかせる

交通教育センターレインボー埼玉に新コースが完成！



新コースは、4月1日より運用が開始されている。今回紹介した生活クラブ連合会の研修のように効果的な車両感覚訓練が実施できるほか、信号機のある交差点や一時停止標識のある交差点などが設定されているので、これまではできなかった法規走行訓練も可能になった。同センターでは、新コースを活用して企業研修など幅広いニーズに応えていきたいという。



車両感覚訓練ではクランクとS字を繰り返し走行

TOPICS ●Honda 春のセーフティキャンペーン 若年層への交通安全啓発を強化し、活動内容をさらに充実

●交通安全ぬりえ ダウンロード

ホンダ 2015 セーフティキャンペーン

検索

「ぬりえ」といっしょに交通安全ポイントシートもダウンロードされる

ダウンロードした「交通安全ぬりえ」に色をぬって、家族で決めた交通安全の約束を書いたら、下記宛にお送りください。応募者全員にASIMO えんぴつをプレゼント！

【応募締切】6月5日（金）

〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1 本田技研工業（株）安全運転普及本部 交通安全ぬりえキャンペーン事務局行

※送付いただいたぬりえは、ASIMO えんぴつと一緒に返送します。 ※お申込みいただきましたお客様の個人情報は、発送業務以外の利用は致しません。

ホンダでは「春の全国交通安全運動（5月11日～20日、主催：内閣府ほか）」に合わせ、4月11日～5月31日の期間、「2015年ホンダ春のセーフティキャンペーン」を実施している。テーマは「ホンダで働くヒトはクルマや地域（社会）にやさしい運転をめざします」交通安全のない明るい地域社会をめざして。

期間中は、ホンダ及びホンダ関連企業の従業員、販売会社のスタッフが一丸となって、自ら率先して交通安全を実践。また、販売会社を含むホンダ及びホンダ関連企業の事業所には、交通安全啓発の「のぼり」を掲示し、従業員・お客様・地域の方に広く交通安全を訴求する。

春は、新入学・新学期のシーズンとなるため、子どもなど若年層



小学1・2年生を対象にした「交通安全クイズ」(3・4年生用と5・6年生用もある)

保護者を対象にした「知って得する 見て得する 自転車のルール」

の事故リスクが高まる時期でもある。そこで、今回は若年層への安全啓発に力を入れている。お子さまと一緒に交通安全について考えるきっかけとしていただけるよう「交通安全ぬりえ」とともに交通安全ポイントシートや「知って得する 見て得する 自転車のルール」「交通安全クイズ」なども左記ホームページからダウンロードができるようになった。